



広報ボランティアのページ

●担当ボランティア／日置雅夫・岩下茂子

20年を超えてボランティアしてみても 二つの“やる”と三つの“ために生きる”

広報一宮の市民編集委員を数年間やった後、2013年2月から一宮市社会福祉協議会「広報ボランティアのページ」で記事を書くようになりました。早いもので11年も経ってしまいました。

私のNPO活動は、2003年3月から始まりました。47歳で退職し、48歳から大学で学び始め、49歳からNPO活動を始めました。当初は、一宮市内でボランティアをする人は少なく、活性化していませんでした。

そんな中で、新たな動きとして一宮市ボランティアグループの会の活動が始まりました。男女が半々の会員数が約50名、60代の退職者が中心の団体でした。

20年間各種のNPO活動を行いました。現在、二つの“やる”と三つの“ために生きる”をPRしています。二つの“やる”とは、「楽しくやる」、「自分のできることをできる範囲内でやる」です。三つの“ために生きる”とは、「自分のために生きる」、「人（家族）のために生きる」、「社会のために生きる」です。

よりよい地域社会になることを心から願い、記事掲載の最後とします。ありがとうございました。（日置）



設立20周年記念交流会（2023年11月撮影）
NPO法人一宮ボランティアグループリーダーの会

地域の名所 たくさん探したい!!

昨年、一宮市のお隣り稲沢市のそぶえイチョウ黄葉まつりを見学させていただきました。たくさんの人出があり、おおいに賑わっていました。祖父江は銀杏で有名ですね。私も久しぶりにイベントを見させてもらい、楽しい気分になりました。

一宮市にもまだまだたくさんのイベントや祭り、観光スポット、史跡などがあると思います。今回、地元に着いたまつりを体験させてもらえたことで、一宮市にもたくさんあるであろう小さな名所を探索したいと思い立つに至りました。

私も40年以上一宮市に住んでいますが、まだまだ私の知らないことがたくさんありそうで今からワクワクしています。

いろんな場所を巡りながら、そこに関わるボランティアの人たちとも交流できたらいいなと思っています。

今回の祭りに参加して新たな楽しみを見つけ出すことができました。皆さんも一緒に一宮の魅力を楽しんでいきましょう。（岩下）